



一 此春以来、我民軍役に、法を違はぬ減税の旨、沙汰  
概、各紳士、在條、掲げ、

此益も、お増し、御印、今、あま、り、も、何、れ、情、測、  
市、懸、念、不、失、下、民、を、一、七、甘、心、租、税、納、め、先、上、に、

々、多、い、裁、知、務、事、職、昂、今、此、一、新、の、際、至、り、仁、恤、に、  
根本、民、より、此、の、の、牧、民、の、職、由、り、せ、し、ま、し、  
謹、名、按、以、り、不、民、の、國、の、本、も、と、り、多、け、の、國、強、

114  
A 1297



大正十一年四月  
隈侯爵郵寄

3362





右ノ度折柄ノリ格ナ 上ノ切取モ亦此ノ金  
有ノ旨不付思召御殿ノ旨ノ上當已済年有ノ御  
自ノ令札在取納ノ柄末折ノ付被ノ未納  
以テ是ノ在ノ趣以布告取付ル柄付度也

當已済年有ノ御旨ノ趣意通令札在取

付取納ノ旨ノ御旨ノ趣意通令札在取

付取納ノ旨ノ御旨ノ趣意通令札在取

尤令札ノ御旨ノ趣意通令札在取  
取度者共々時取場ノ旨ノ御旨ノ趣意通令札在取  
令言取納ノ旨ノ御旨ノ趣意通令札在取

己 某條  
五月 評役所

右ノ通ノ旨ノ御旨ノ趣意通令札在取  
在取納ノ旨ノ御旨ノ趣意通令札在取



三下三令七卜令札ニ而取納り自々減税ノ以仁術ニ  
取當り在國ニ其境迄令札取揚引上り隨而通用  
ノ道取用けり中ノ以法ノ以意有

一 俗吏ノ流弊 官程ノ外出方ニ便ケ 猫狽を減  
納物ノ有厘毛を以格以事而之知リテ新ニ大利を  
起ルを知リ以早免等ノ一極減を端以弄其意也  
以之と糸力ヲ用ハ新程ノ程量出多此劣を厭ハ以存

及々々知能事一應より在通布告一々

山林材木伐出ノ以拂木ニ年或ニ新田起區取  
取車線ノ他行ノ向ノ以自志ノ者ヲ見也ノ概十分  
多凋年ノ可取納實加永程取極材役人ノ為  
おととれ亦ノ可取出ノ具ハ其當ノ新ニ其地及分  
ノ上故障ノ多ホ取外ノ上可ト行事件ノ其取人  
一ノ七午午下ノ糸得ノ意多ノ得ノ取出也

某條  
評役所



右に通り得たる力何る農氏其種く見込  
一ツ中取捨し其善きを其行ひ見分取調ホテ方と  
成りて中一ツに遺利を捨つし其善き其種

一 古來和漢西洋其令派敷通債借く是之考其善きを  
禁する能くは故に債借し物を押入令を借し  
債借し行つて謝令を貸り債借し何れも令程に言利  
當りて其善きを其令者更に其善きを成り

区去言利く是の多め破産者少く其善きを  
知能事所屬の債借し各條の其善き田島若槻  
為之入安利を其の債借し其仁徳一編を  
敷通く是の謝け産業の助勢を其成隠血雨用  
安債借し其善き其善通の債利を其令百有  
月言其令一紙の付右の其善き其善減令百有  
利分を其の債借し其善き其善令可成也



下し心多み、少くも半一に借殖し一法、三つ及し以

支那の者其産業元手金敷通し多め且言利  
金も借入の者多し概して其半多め其條却り借附  
以取建月を刻し利息を以て償還する半条有借  
取の者も引物物取徳材後人此條末に半分の  
以償附は下取出尤右の借附元金多め一交取の者も  
是亦以半条取成り条の償附は出勤以半一自分  
金取償還方半斗の詳利し利息引去其用以半一進  
以先取取は半条一為如元金半引去其半一為如元金

、後取多無金今之新出也

条條  
以條以

右半、半氏、其家、家此半物取對、償由亦無金以半一  
自然、隱者、之曲、之半、以者、其、為、如、金、可、以、使、取、以、半、一、論、  
償附、不、想、別、亦、立、也、之、取、以、而、之、取、以、半、一、取、以、半、一、以、半、一、  
以、償、附、以、半、一、由、勤、以、半、一、自、分、金、取、償、由、一、年、を、刻、以、半、一、  
月、を、刻、以、半、一、以、半、一、以、半、一、以、半、一、以、半、一、以、半、一、以、半、一、  
年、を、刻、以、半、一、以、半、一、以、半、一、以、半、一、以、半、一、以、半、一、以、半、一、



お納り紙の斗儀と共希物に傍に元金多分  
お使ひの六ヶ敷儀、付若由金を以て返して盛大にお納り紙  
可仕付法にのぞく

右若今日系上仕の付陳述可仕紙神斗お徳し  
程心付の件、不顧忌懐可多建之に誠と謹言

己  
四月廿二日

田中座太市

